

## 介護ロボット導入報告書

施設名	特別養護老人ホーム八幡の杜
施設の種別	地域密着型ユニット型介護老人福祉施設入所者生活介護
住所地	岐阜県養老郡養老町押越 466-1

## 1 導入したロボットについて

ロボット名称	aams 介護セット
介護の種類	見守り
ロボットの写真	<p>本体写真</p>  <p>センサー部分写真</p>  

\*ロボットの形状が分かる写真をお願いします。

## 2 使用状況

使用状況	<p>ベッドに設置したセンサーの写真</p> <p>①ベッドの頭部側にセンサーの機械の設置</p>  <p>②ベッドマット下にセンサーを設置</p>  <p>③パソコン画面</p>  <p>※実際にベッドや居室に整備した場面について、写真を添付してください。ホームページに掲載しますので、プライバシーの保護に十分配慮してください。</p>
介護ロボットが使用された場面	<p>例：認知症の方の居室で使用、夜間帯にセンサーがなり、徘徊に出る前に声掛けできた、など具体的な事例を挙げてください。</p> <p>【新規の利用者様の受け入れについて】</p> <p>ご自宅で生活をしていましたが、転倒の回数が徐々に増えてきたのです</p>

	<p>が、認知症があるため下肢筋力に合わせた生活を行うのが難しく、施設に入居して生活をされる事になりました。ほぼ独居の状態で行っており、トイレに頻回に行かれる事は分かっていますが、夜間帯にどの様にトイレに行っているのか等は全く把握できていない状態でした。その為、本人様の状態の把握と離床時の排泄介助の目的にてセンサーを使用しました。</p>
--	--

### 3 導入によって得られた効果

得られた効果	<p>センサーを使用する事で、まずは、離床時に通知をしてもらえるので、本人様の離床時に訪室が出来、安全に排泄を行って頂けるように支援をさせて頂く事が出来ました。その事で、本人様は転倒に至らず、痛い思いをすることなく過ごす事が出来ました。又、本人様の排泄記録と眠りの深さの確認を行い、眠りの浅い際には排せつ回数が増えることが分かりました。その事から、昼間はできるだけフロアで過ごして頂く様にし、夜間に出来るだけ深い眠りを確保出来る様にし、本人様が排泄に行かれる回数をほぼ毎晩 5～7 回程度だったのが、2～3 回に減少させることができる日も出てきました。結果として、本人様の夜間の立ち上がり回数が減るので、転倒のリスクが減少したのと、職員が訪室する回数が減らすことができました。</p> <p>※介護の手間の軽減と高齢者の安全安楽の確保などの面から記載してください。</p> <p>※客観的な評価指標に基づき記載してください</p>
介護ロボット導入について介護士等の意見	<p>新入居者様の中には、夜間の状態が把握できていない方もおり、その際には、状態を把握するのにどうしても時間が必要になります。又、把握するには細かな記録を残す必要があるのですが、それも必要なく後で記録と照らし合わせながら確認をすることができます。入居者様の睡眠状態を把握するには良いかと思います。</p>

### 4 介護ロボットに関する問い合わせ先

施設名	特別養護老人ホーム 八幡の杜
電話	0584-84-4100
Email	yourou-nagaya@wish.ocn.ne.jp
担当者氏名	大橋 正典